

沖縄・東村高江・米軍ヘリパッド建設 工事強行を許さない！！

7.25官邸前抗議行動

7月25日（月）

18時30分～

首相官邸前（国会記者会館前路上）

※地下鉄丸ノ内・千代田線「国会議事堂前」
駅すぐ



※米軍北部訓練場のメインゲートを守る機動隊



※作業車両への抗議行動と機動隊による排除

7月10日参議院選挙の翌日11日の早朝、東村高江にある米軍北部訓練場のメインゲートに、県警の機動隊、ダンプ、トレーラー、重機、ヘリパッド建設の請負業者の北勝建設が現れ米軍基地に入った。機動隊はメインゲートの外の芝生に、座り込みをさせないために県の許可なく鉄柵を設置し、県民の抗議の声を圧殺している。参議員選挙で、辺野古・高江に基地はいらないと闘った伊波洋一さんが、基地建設推進の自民党候補を10万票以上の大差で破った数時間後の出来事である。これは県民の民意を踏みじめるものであり、断じて高江にオスプレイのためのヘリパッド建設の工事再開を許すわけにはいかない。

さらに7月19日には、機動隊1000名（琉球朝日放送）が高江に派遣されることが決定している。直近の参院選で示された沖縄の人々の「米軍基地はいらない」との思いを力づくでねじ伏せようとしている。

私たち一坪関東ブロックは、高江に工事開始の報に接して、12日に防衛省前緊急抗議行動を取り組んできた。しかし、その後高江ヘリパッド建設に向けた動きが急ピッチで進み、工事再開が7月下旬と目論まれている。人口150人の高江集落に1000人規模の機動隊が投入される。1879年の琉球併合を彷彿させる歴史の繰り返しを許してはならない。

高江のヘリパッド建設を止めるためには、日本政府・防衛省に対して抗議の声を挙げ、現地への直接行動をはじめ支援が重要である。オスプレイのためのヘリパッド建設を止めるために首相官邸前での抗議行動への参加を呼びかける。

呼びかけ：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック

連絡先：090-3910-4140

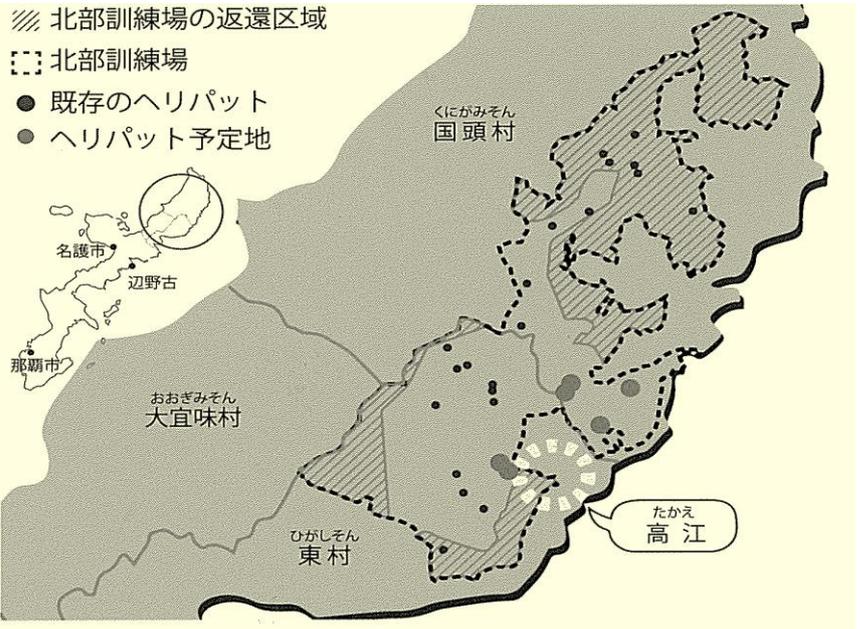
ホームページ：<http://www.jca.apc.org/HHK/>

●沖縄・東村高江

沖縄県北部。世界的にも希少な動植物が住む「やんばる」の森。その中に人口150名の村、東村高江があります。

しかしその豊かな「やんばる」の森は軍事目的として、米軍の北部訓練場（ジャングル訓練施設）として50年間も使われ続けています。ヘリコプターと欠陥機オスプレイによる低空飛行訓練とジャングル戦闘訓練が日常的に行われ、住宅や学校上空での低空飛行や夜間飛行訓練も行われ、騒音や墜落事故の危険と隣合わせの日常を強いられています。

そのような状況のなかで2006年、日本政府・防衛省は新たに6基の垂直離発着機オスプレイ用ヘリパッドを、高江を取り囲むように建設する計画を発表し、2007年、住民に十分な説明がないままヘリパッドの建設を強行しました。2007年の工事開始の前日から「座り込み」抗議・監視・阻止行動が2016年現在も続けています。



※左の写真→N4地区のヘリパッド

●100 デシベル級の騒音

新設したN4地区のヘリパッドで6月下旬から連日、オスプレイが日中から夜10時過ぎまで離着陸訓練を繰り返している。3機同時訓練が確認された夜10時過ぎの騒音は最大99.3デシベル。車のクラクションの匹敵する騒音だ。連日の訓練を受けて東村が実施した全小中調査アンケートでは、授業中や学校で遊んでいてヘリコプターの騒音が気になったことがあるが77%を占め、自由記述の項目では、「授業が中断される」「低空飛行が怖い」「夜10時頃飛んでうるさい」との記述もあった。政府はこのような状況を放置して、7月下旬から米軍のためにオスプレイパッド4基新設しようとしている。



※N1ゲートの上を飛ぶオスプレイ。日常の光景